

登録コード	TOH01900	開講年度	2026			
授業科目	生涯学習概論(16T以降)				担当教員	荒井 英治郎
英文授業名	Introduction to Lifelong Learning				副担当	
単位数	2	講義期間	後期(集中)	曜日・時限	集中・不定期	対象学生
講義室			授業形態	講義	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【授業で得られる「学位授与の方針」要素】				⇔	【授業の達成目標】
	2 5Tカリ, 2 3Tカリ					
	【22T～】様々な課題を見つけ取り組む力が身についている。				⇔	生涯学習社会における学びを実践する能力とともに、他者の学びを支援するために必要な条件を具的に提示することができる
	2 6Tカリ					
	【26T～】共通教育による幅広い教養と、工学の専門分野における基礎学力が身についている。				⇔	生涯学習社会における学びを実践する能力とともに、他者の学びを支援するために必要な条件を具的に提示することができる
(2)授業で学べる「テーマ」	地域運営、芸術文化、環境共生、多文化協働、健康長寿、防災減災、キャリア					
(3)全学横断特別教育プログラム						
(4)授業の概要	本授業のテーマは、人間形成における教育・学習の機能について理解を深めながら、生涯学習社会における学びのあり方を構想することである。特に、社会教育と生涯学習に関する諸論点（思想、歴史、法制度、行政、施設、スタッフ、政策動向、居場所づくりなど）に関する基礎的知識を習得し、生涯学習社会における学びを実践する能力とともに、他者の学びを支援するために必要な条件を具的に提示することを到達目標とする。 本授業では、生涯学習に関する様々なテーマ（生涯学習の理念と思想、生涯にわたる人間形成、生涯学習政策、生涯学習の多様な学習方法など）の基礎的理解を通じて、生涯学習社会における学びを効果的に実践していくことを支援することができる能力を習得する機会を提供する。 なお、本授業は、「オンデマンドコンテンツ」によるe-learning授業の形態をとる。					
(5)授業計画	本授業は、「オンデマンドコンテンツ」によるe-learning授業の形態をとる。 授業計画 第1回：生涯学習の理念 第2回：生涯にわたる人間形成 第3回：生涯学習を支える思想 第4回：行政による生涯学習の振興 第5回：民間団体・機関による生涯学習支援 第6回：生涯学習支援に関わる人的支援と物的支援 第7回：世界の教育改革動向 第8回：現代社会と学びの変化 第9回：学校教育とキャリア教育 第10回：夜間学級の取り組み 第11回：生涯学習の多様な学習方法 第12回：ワークライフデザイン 第13回：プレゼンテーション入門 第14回：セルフコントロール入門 第15回：生涯学習の現代的課題 授業の最後にアンケート実施 15分間					
(6)成績評価の方法	コンテンツごとに提出してもらう「リフレクションペーパー」や「レポート」（5割）などから総合的に評価します。					
(7)成績評価の基準	①生涯学習社会の理念を概括することができるか、②生涯学習の各種取り組みの特徴を概括することができるか、③生涯学習の実践に関する自身の見解と展望を論じることができるか。 ①から③のうち、全て満たしていたら「卓越している」ないし「かなり上にある」、①から③のうち2項目を満たしていれば「やや上にある」、1項目を満たしていれば「水準にある」。					
(8)事前事後学習の内容	授業はオンデマンド方式で展開しますので、「授業関連資料」を参照しながら、「授業関連動画」を順次視聴し、毎回リアクションペーパーを提出するようにして下さい。自分なりのペースで構いませんが、一定のペースで視聴されることをお勧めします。 ※60時間以上の時間外学習が必要となります。					
(9)履修上の注意	①授業は、「オンデマンド方式」で展開します。 ②「オリエンテーション資料」をお読みいただき、履修するかどうかの判断をして下さい。 ③授業はオンデマンド方式で展開しますので、「授業関連資料」を参照しながら、「授業関連動画」を順次視聴し、毎回リアクションペーパーを提出するようにして下さい。自分なりのペースで構いませんが、一定のペースで視聴されることをお勧めします。 ④「最終レポート」に関しては、後日eALPS上にアップしますので、各自確認して下さい。 ⑤何かご不明な点があれば、講義担当で教職支援センターの荒井（earai@shinshu-u.ac.jp）までご連絡ください。					

(10)質問,相談への対応	簡単な質問については講義中に随時受け付け、講義中・講義後・次回授業時に説明を行う。その他、初回授業時に伝えるメールアドレスにて随時質問を受け付けるものとする。
(11)その他	全15回の授業に出席することを基本とする。6回以上の欠席は「不可」とする。
【教科書】	特になし
【参考書】	授業時に紹介する